

平成27年度事業報告

本県のグリーン・ツーリズムを推進するために、独自事業、県補助事業及び委託事業を活用して、実践者、推進組織、交流施設、関係機関及び関係団体等と連携して、本県グリーン・ツーリズムの普及・啓発、情報発信等を実施した。

特に、第14回全国GTネットワーク山形大会を開催して、全国各地からの参加者をお迎えし、やまがた的グリーン・ツーリズムのレベルアップやPRとともに、全国の先進的な実践者とのネットワーク構築に大きな役割を果たした。

《 独 自 事 業 》

1 情報発信事業

(1) HP「やまがた的グリーン・ツーリズム」の充実を図るとともに、ツイッター、フェイスブック等を活用して、会員の紹介や活動状況、各種イベント等の情報発信を行った。

(2) フリー・マガジンによる情報発信

① 協議会や会員の活動を広く紹介するため、フリー・マガジン「GOZZO 山形」の協賛サポーターとなり、毎号 200 部を買い上げて「駅西 旬の朝市」や「勾当台 交流市」等のイベントで配布した。

② 「GOZZO 山形」にスタンプラリーについての広告を掲載するとともに、読者プレゼントとして、会員の商品（約 3 千円相当）を各号に提供した。なお、3 千円相当のプレゼント商品代金及び送料の 3 分の 2 を本協議会が負担した。

本年度は、協議会設立 20 周年の節目の年であることから、記念特別企画として、「農家レストランお食事券 3,000 円分」を 5 名様分提供した。

読者プレゼントの概要

発行号	会 員 名	商 品 名	応募数
Vol.17 (6月号)	道の駅鳥海 ふらっと	鳥海山カレールウ&遊佐産キューブ米セット	17 通
	壽屋 寿香蔵	日本の朝食セット 玄米 2kg	44 通
Vol.18 (10月号)	長澤農園	りんごジュース&コンフィチュールセット	81 通
	まゆはきの丘直売所	りんご	59 通
	<本協議会>	農家レストランお食事券 3,000 円分	27 通

<Vol.19(3月号)の読者プレゼントは H28 年度事業で対応>

(3) 関係団体との連携

日本 GT ネットワークセンター、県観光物産協会、おいしい山形推進機構及び県教育旅行誘致委員会等の構成員となって連携を図りながら、本県グリーン・ツーリズムの情報発信を行った。

また、全国大会の開催にあたっては、会員や関係団体と連携しながらグリーン・ツーリズムの普及啓発と本県への県外客等の誘致促進を図った。

2 受入態勢整備事業

受入態勢整備助成金の交付（対象経費の 2/3 以内を補助）

① 酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会

- ・ 情報交換会の開催による情報の共有化とともに、HP やガイドマップの充実により、酒田市グリーン・ツーリズムを PR し、市内外からの参加者増加を目指した。

② もがみ産直の里づくり推進協議会

- ・ 最上地域の産直施設などが一堂に会して「もがみ“ゆめりあ”産直フェア」を開催し、地元で生産された安心・安全・新鮮な食品を提供するとともに、消費者に地元の農産物・加工品を広く PR した。

③ もがみ農村体験ネットワーク

- ・ 先進的な体験活動に取り組んでいる実践者を訪問し、現地での体験と講話による実践者研修会を開催した。

④ 庄内町グリーン・ツーリズム推進協議会

- ・ 全国大会第 4 分科会の開催にあたり、全国からの参加者等に対して管内グリーン・ツーリズム活動の普及啓発を行うとともに、グリーン・ツーリズム活動の先駆者をお招きして意見交換会を開催し、受入態勢の整備を図った。

⑤ きたむらやま産直組織ネットワーク

- ・ 産直組織が連携して「ジョイフル産直」を実施し、地域産の農産物・加工品を PR するとともに、ガイドマップの作成、スタンプラリーやいっせい直売会の開催により、ネットワークの強化など受入態勢の整備を図った。

3 普及啓発事業

(1) 日本一さくらんぼ祭りへの参加

平成 27 年 6 月 20 日(土)、山形市七日町大通りや文翔館前広場などで開催され

た「第4回日本一さくらんぼ祭り」において、他の産直会員とともに出店し、本県グリーン・ツーリズムのPRを行った。

なお、これまで例年参加していた山形県農林水産祭（10月25～26日）「秋の食彩まつり」については、翌週に開催する全国大会の準備のため、本年度に限り不参加とした。

(2) 地域活動推進費

① 置賜グリーン・ツーリズムネットワーク（置賜地区）

置賜地域におけるグリーン・ツーリズム活動を推進するため、実践者、推進組織、観光振興団体及び交流施設の相互交流によるネットワークの形成・強化を促進するとともに、先進的な取組み事例を視察研修することにより、地域におけるグリーン・ツーリズム素材の更なる有効活用と活動の推進を図った。

② グリーン・ツーリズム推進協議会（村山地区）

全国大会第6分科会の開催にあわせ、全国からの参加者等に対して管内グリーン・ツーリズム活動の普及啓発を行うとともに、地域内の受入態勢の向上を図る統一企画（週末農園ランチ）の実施を契機とし、管内ネットワークの構築及び実践者の活動を支援した。

③ グリーン・ツーリズム推進協議会（最上地区）

最上地域の山村の自然や暮らしの素晴らしさを伝えるため、会員が連携して情報発信・PRを行い、各種研修の実施によりネットワークを強化した。

地域の産直・加工所が連携して、地元で生産された特徴ある農産物等を提供し、消費者に地域の農産物等をPRした。

4 「駅西 旬の朝市」の開催

本年度は、開催時間を早めた上で短時間の開催とした。

- ・開催期日：5月から11月の第2、4土曜日（開催回数14回）

- ・開催時間：午前8時00分～10時00分

特に、開催場所である山形駅西口広場が、H28年10月以降使用できなくなるため、その対応について協議を行った。

また、山形駅西口での朝市の外、仙台市勾当台公園での交流市（大崎、栗原及び石巻との合同開催）への本格的な参加など、活動の場の拡大に取り組んだ。

5 総会及び役員会等の開催

(1) 総会及び交流分科会 ⇒ 平成 27 年 6 月 15 日(月)

① 議案

- ・平成 26 年度事業報告・収支決算について
- ・平成 27 年度事業計画・収支予算(案)について
- ・役員改選について

② 報告

- ・第 14 回全国グリーン・ツーリズムネットワーク山形大会について

③ 講演

「山形から全国へ 第 14 回全国 GT ネットワーク大会の成功に向けて」
NPO 法人 日本グリーンツーリズム・ネットワークセンター
代表理事 青木 辰司（東洋大学社会学部教授）

(2) 会計監査 ⇒ 平成 27 年 6 月 5 日(金)

(3) 役員会

① 第 1 回役員会 ⇒ 平成 27 年 4 月 20 日(月)

- ・平成 27 年度の総会議案について
平成 26 年度事業報告・収支決算、平成 27 年度事業計画・収支予算(案)、
役員選出
- ・平成 27 年度総会の開催について
開催期日、総会の内容・構成
- ・全国 GT ネットワーク山形大会について
開催概要の一部変更、オプションツアー

② 第 2 回役員会 ⇒ 平成 27 年 5 月 26 日(火)

- ・平成 27 年度の総会議案について
平成 26 年度事業報告・収支決算、平成 27 年度事業計画・収支予算(案)、
役員選出
- ・総会時の役割分担について
- ・全国 GT ネットワーク山形大会について
全体会及び分科会の開催概要、大会参加申込み、オプションツアー

③ 第 3 回役員会 ⇒ 平成 27 年 9 月 7 日(月)

- ・グリーン・ツーリズム受入態勢整備事業等助成金の審査について
受入態勢整備事業 5 件、地域活動推進事業 3 件

- ・全国 GT ネットワーク山形大会について
各種催事の設営、参加申込の受付事務、大会会場での受付業務、
大会スタッフの主な業務・役割分担・動員計画
- ・農家民宿研修会の開催（案）について
- ・各種事業の進捗状況について

④ 第4回役員会 ⇒ 平成27年12月16日(水)

- ・全国 GT ネットワーク山形大会の開催結果について
- ・安全対策・リスク管理研修会の開催について
- ・県大会の開催検討について
- ・各種事業の経過報告等

⑤ 第5回役員会 ⇒ 平成28年3月1日(火)

- ・全国 GT ネットワーク山形大会の結果について（報告書）
- ・安全対策・リスク管理研修会の開催について
- ・協議会規約の改正(案)について
- ・県大会の開催検討について
- ・その他

(4) 拡大幹事会 ⇒ 平成27年7月8日(水)

- ・各種事業の進捗状況について
- ・全国 GT ネットワーク山形大会について
- ・農家民宿研修会の開催について

《 補 助 事 業 》

1 グリーン・ツーリズム推進事業

(1) グリーン・ツーリズム NEWS の発行

- ① 交流人口の拡大を図るため、グリーン・ツーリズム NEWS（紙媒体）を年5回（各号 9,500 部）発行し、県内のグリーン・ツーリズムに関する旬なイベントや会員の活動紹介などの情報を発信した。

発行月	紹介した会員		
7月号 (Vol.62)	鶴岡生産組合 「しゃきっと」	めざみの里グリーン・ツ ーリズム推進協議会	(スタンプラリー 開催中)
9月号 (Vol.63)	(全国 GT ネットワーク山形大会の開催案内の特集)		
10月号 (Vol.64)	伝承野菜農家 森の家	山の内自然体験交流施設 やまぼと	(全国 GT ネットワー ク山形大会の日程)
12月号 (Vol.65) (11月号を変更)	(全国 GT ネットワーク山形大会の結果)		(スタンプラリーの 御礼を掲載)
2月号 (Vol.66)	こめやかた 「マクロビ講座」	オコメカフェ 森のたんぼ	Asahi 自然観

- ② 会員紹介では、会員の活動状況や施設を現地で取材したり、会員自らに原稿の作成をしていただいたりして情報を収集するとともに、デザインは事務局の担当が行った上で、ネット印刷により経費削減を図っている。
- ③ 配布先は、協議会の全会員、各行政機関、文化・観光・交流施設、山形大学外5大学等の県内施設に加えて、宮城県を中心に銀行、スーパー、GS、県境の道の駅、さらには、県の県外事務所の各情報センターや「おいしい山形プラザ」等の約 400 か所に設置を依頼し、本県情報の発信に努めた。

(2) HP「やまがた的ツーリズム」の管理運営

ホームページ「やまがた的グリーン・ツーリズム」において、協議会の事業や会員の紹介、会員や地域のイベント等の情報発信を行った。

特に、全国大会の開催を PR するページを増設し、大会への参加を呼び掛けた。

① アクセス件数

・トップページアクセス数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,135	1,468	1,671	1,375	1,327	1,196	1,141	1,029	859	816	906	724	13,647

・総ページアクセス数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14,261	21,505	23,503	18,355	21,231	22,355	20,689	16,733	12,685	13,951	12,657	11,579	209,504

◎ ページ別では、「農～んびりやまがた発見ナビ」が 10 万件近く、「郷土料理」が 7 万件余りと、年間を通して関心が高い。次いで、「全国大会」、「新着情報」、「エリア別のモデルコース紹介」、「会員紹介」の順となっている。

◎ 地域別のアクセス数は、県内からのアクセスは約 4 分の 1 に留まり、県外からのアクセスが大半を占め、海外からのメインサーバーへのアクセス数が 1,588 件と大幅に増加（前年度 610 件）している。

② 新着情報

新着情報の発信件数は 64 件（前年度件数 61 件）で、情報源の内訳は会員（実践者）5 件、事務局 17 件、県及び市町村 21 件、その他の各種団体等（東北農政局、NHK 等を含む）21 件で、特に、会員からの情報提供が減少している。

・会員が情報源となった新着情報

No	掲載年月日	記事タイトル	情報源
1	2015/6/16	食育イベント「6月21日(日)“父の日は乳の日”開催のご案内	山川牧場
2	2015/8/20	村山市中沢棚田 稲刈り体験会	こめやかた
3	2015/9/7	紅葉の雑木林にかぼちゃランタンで小人の村づくり 24th	ハチ蜜の森キャンドル
4	2015/2/19	ハチ蜜の森から晩冬イベントのお知らせ	ハチ蜜の森キャンドル
5	2016/3/1	庄内町グリーン・ツーリズム推進協議会 研修会開催のご案内	庄内町グリーン・ツーリズム推進協議会

・県及び市町村が情報源となった新着情報

No	掲載年月日	記事タイトル	情報源
1	2015/4/28	「山形暮らしセミナー」Vol.1 開催のご案内について	県 市町村課
2	2015/6/5	「平成 27 年度やまがた 6 次産業ビジネス・スクール」の募集開始について	県 6 次産業推進課
3	2015/6/8	「山形暮らしセミナー」Vol.2 開催のご案内について	県 市町村課
4	2015/6/30	新・農業人フェアで山形暮らしの相談会を開催！	県 市町村課

5	2015/6/30	「山形暮らしセミナー」Vol.3 開催のご案内について	県 市町村課
6	2015/7/21	「山形暮らしセミナー（やまがたハッピーライフカフェ）」Vol.4 開催のご案内について	県 市町村課
7	2015/7/29	「ふるさと回帰フェア 2015」 in 大阪のご案内	県 市町村課
8	2015/8/21	「山形暮らしセミナー（やまがたハッピーライフカフェ）」Vol.5 開催のご案内について	県 市町村課
9	2015/9/4	東京で開催の「ふるさと回帰フェア 2015」に出展！	県 市町村課
10	2015/9/14	「全国移住ナビ」での PR 動画の公開と「新・農業人フェア」への出展情報の案内について	県 市町村課
11	2015/9/30	川西 ⇄ 東京駅 直行バスツアー！秋の川西町で「農業」を体感し味わってみませんか？	川西町 産業振興課
12	2015/10/5	「山形暮らしセミナー（やまがたハッピーライフカフェ）」Vol.6 開催のご案内について	県 市町村課
13	2015/10/28	「山形暮らしセミナー（やまがたハッピーライフカフェ）」Vol.7 開催のご案内について	県 市町村課
14	2015/11/25	「山形暮らしセミナー（やまがたハッピーライフカフェ）」Vol.8 開催のご案内について	県 市町村課
15	2015/11/25	新・農業人フェアで山形暮らしの相談会を開催！	県 市町村課
16	2016/1/7	「移住・交流&地域おこしフェア」にブース出展！	県 市町村課
17	2016/1/7	「山形暮らしセミナー（やまがたハッピーライフカフェ）」Vol.9 開催のご案内について	県 市町村課
18	2016/1/14	食品表示の適正化に向けた研修会	県 村山総合支庁
19	2016/2/2	「月の沢龍神冬まつり」のご案内	庄内町 商工観光課
20	2016/2/2	新・農業人フェアで山形暮らしの相談会を開催！	県 市町村課
21	2016/2/2	「山形暮らしセミナー（やまがたハッピーライフカフェ）」Vol.10 開催のご案内について	県 市町村課

③ 全国大会 PR ページの充実

平成 26 年度に増設した全国大会 PR 用ページについて、大会内容の検討の進展に合わせて、決定された詳細事項を順次掲載し、内容の充実に努めた。

④ 会員バナー募集

会員サイトにリンクするバナーを、HP のトップページ下段に掲載しているが、掲載を希望する会員の募集を行ったうえで、会員の利用に供している。

（掲載期間各 3 か月・募集枠各 10 件）

期 別	期 間	掲載数
第1期	平成28年 1月～3月	5件
第2期	平成28年 4月～6月	10件
第3期	平成28年 7月～9月	7件
第4期	平成28年10月～12月	6件
計		28件

⑤ SNS の活用

会員の活動の紹介や各地のイベントの状況、全国大会の準備や開催結果、四季の表情など本県の豊かな自然、等々の旬な情報を中心に投稿し、フォロワーやいいね！の数が、これまでになく大幅に増加した。

◎ ツイッター フォロワー：2,148名（前年度より257名の増）

◎ フェイスブック いいね！：307件（前年度より150件の増）

2 スタンプラリーの実施

(1) 事業概要

県内グリーン・ツーリズムの普及と体験への参加を誘導するため、「山形日和。」観光キャンペーンや全国大会の期間に合わせて、県内全域で実施した。

「食べる・泊まる・買う・体験する」のグリーン・ツーリズムを体験されたお客様は、トコちゃんスタンプがもらえ、3個集まったら応募台紙を本協議会に郵送で応募することにより、抽選で山形の特産品をプレゼントした。

- ・実施期間：平成27年6月15日（月）～11月5日（木）の144日間
- ・協賛施設：75施設
- ・プレゼント：県内農家レストランお食事券3,000円分、お米「つや姫」10kg、旬の果物（ラ・フランス）、生そばセット、山形県産ワインを合計40名様にプレゼント
- ・応募件数：1,016件（県内506件／県外510件）
- ・広告掲載：GOZZO山形（10月号）
- ・広報活動：① 山形県グリーン・ツーリズム推進協議会HPの活用
新着情報・ツイッター・フェイスブックで情報を発信し、スタンプラリーのページ行きの誘導を行った。
- ② ポスター、ミニのぼり及び台紙の配置
 - ・協賛施設や道の駅等へ掲示及び配布
 - ・「さくらんぼ祭り」等のイベント時に台紙を配布

(2) 事業の検証

- ① 応募件数 1,016 件は、昨年度の応募件数 680 件を大幅に上回り、千件の大台に乗るとともに、県外からの応募が県内を僅かながら上回った。
- ② 「グリーン・ツーリズムをご存知でしたか」との問いに「はい」と答えたのは約半数に止まり、依然として、グリーン・ツーリズム自体の周知・普及拡大に取り組む必要があると実感した。
- ③ 「初参加でしたが、家族で楽しめました。次回も是非参加します」、「県外の友人を連れてのスタンプ集め、楽しかったです」、「スタンプラリーのおかげで、様々な農産物の購入が楽しく出来ました」、「皆さんの優しさに心が癒され、是非また行きたいです」、「このスタンプラリーの台紙を手にとったことによって、グリーン・ツーリズムを理解することが出来ました」等々、参加した方々から喜びの感想が寄せられた。
これらのことから、スタンプラリーを継続して実施することが、グリーン・ツーリズムの普及に効果があると考えられる。
- ③ 意見として、「スタンプ押印施設を増やしてほしい」、「押印施設のマップや店頭へのぼりがあればわかりやすい」という声が多かった。

《 委 託 事 業 》

I 子ども農山漁村交流プロジェクト推進事業

子ども農山漁村交流プロジェクトを推進し、小学校等が行う農山漁村での長期宿泊体験活動の県内受入を促進するため、リスクマネジメント研修会の開催等受入地域協議会における受入体制整備への支援を行うとともに、関係団体と連携して宮城県を中心に教育旅行の誘致活動を行うなど、山形の大きな魅力である「豊かな自然」と多様な体験プログラムを中心に情報発信を行った。

1 リスクマネジメント研修会

教育旅行を本格的に誘致しようとする本県にとって、「受入先におけるリスク管理」は必須条件であり、喫緊の課題として取り組む必要があることから、第一弾として開催した。内容の充実した研修会だったと好評の声が多かった。

- ・期 日：平成 28 年 3 月 9 日 13 時～16 時
- ・講 師：(一財)全国農協観光協会 子ども交流プロジェクト事務局長
出口 高靖 氏
早川総合法律事務所 弁護士 早川 修 氏
- ・参加者：39 名

2 教育旅行の誘致活動

山形県教育旅行誘致委員会と連携を図りながら、各受入地域協議会のメンバーとともに、仙台圏の小中学校を中心に様々な誘致活動を実施した。

① 東北ブロック子ども農山漁村交流プロジェクト推進協議会 研修会

- ・期 日：平成 28 年 1 月 26 日 (火)
- ・会 場：仙台商工会議所
- ・内 容：先行事例の紹介
 - ◎ みなかみ町教育旅行協議会 (群馬県みなかみ町)
 - ◎ 南会津農村生活推進協議会 (福島県南会津町)

② 教育旅行受入地域セミナー

- ・期 日：平成 28 年 2 月 5 日 (金)
- ・会 場：ホテルメトロポリタン山形
- ・内 容：「農山漁村体験地の抱える課題と受入地拡大について」
南会津農村生活体験推進協議会 事務局長
(兼) みなみやま観光(株) 統括課長 湯田 弘信 氏

③ 仙台市内の旅行会社に対する説明会

- ・期 日：平成 28 年 2 月 25 日（木）
- ・会 場：ホテルメトロポリタン仙台（仙台駅前）
- ・説 明 者：子ども農山漁村交流プロジェクト「受入団体」及び市町村等
- ・対 象 者：旅行会社 7 社の仙台支店担当者

④ 東北ツーリズム大学 福島カレッジ（公開講座）

- ・期 日：平成 27 年 11 月 14 日（土）
- ・会 場：喜多方市役所
- ・内 容：教育旅行回復に向けて風評被害を乗り越えるために
「衣食住に向き合えば、地域の育て方が見えてくる」
講師：NPO 法人 ふよう土 2100 理事長 里見 喜生 氏

3 受入態勢の整備

① 山形県教育旅行誘致委員会の組織強化

教育旅行の誘致に本格的に取り組むため、現行の教育旅行誘致委員会について、県知事をトップにした組織に改編して、県全体が一体となって教育旅行の誘致活動を強化することとなった。

- ・県教育旅行誘致協議会 準備会 平成 28 年 1 月 27 日（水）県庁会議室
- ・県教育旅行誘致委員会 臨時総会 平成 28 年 3 月 28 日（月）県庁講堂
（当協議会の会長が、新委員会の幹事に就任）

② 講演会の開催

教育旅行や農村・農業体験の受入態勢の整備を目指して、受入組織や受入農家の方々に対して、留意すべき課題に関して講演会を開催した。

- ・期 日：平成 27 年 10 月 30 日（金）
- ・会 場：三川町 なの花ホール
- ・内 容：増加が見込まれる「特区やネット予約の民泊」との差別化、教育型グリーン・ツーリズムへの特化と多様性などについて
「豊熟の歓喜を共に」
講師：NPO 法人 全国グリーンツーリズム・ネットワークセンター
代表理事 青木 辰司 氏（東洋大学社会学部教授）

II グリーン・ツーリズム企画運営推進人材育成事業

グリーン・ツーリズム全国大会等のイベントに関して、企画立案から PR・情報発信及び運営までを一貫して担うことにより、本県グリーン・ツーリズムの推進に寄与する人材の育成に努めた。

1 各種研修事業への参加

情報発信に不可欠な ICT 関係を始めとして、様々なビジネススキルに関する研修会に参加することにより、より効果的な情報ツールの活用法や企画運営に関する基礎知識を学んだ。(研修会は県職業能力開発専門校が主催)

- | | |
|----------------------------|--------------|
| ① 会計基礎研修 | 2 日間 (2 名受講) |
| ② ビジネススキル基礎講座(コミュニケーション編) | 2 日間 (1 名受講) |
| ③ 表計算活用研修(とことん関数編) | 2 日間 (2 名受講) |
| ④ ホームページ作成基礎研修(HTML/CSS 編) | 3 日間 (1 名受講) |

2 全国大会におけるイベント等の企画立案及び運営

全体会場の各種イベントの内容等に関する企画案の検討・準備に加えて、一部の分科会の企画にも関与するとともに、当日の運営のために会場準備やボランティアを含むスタッフの指導を行った。

(1) PR に関する企画の立案・実施

大会開催パンフレットの作成・送付(4,000 部)、役員用名刺、紙袋等の作成

(2) 昼食交流会等のイベント企画の立案・実施

餅つき・ピッツアの振る舞い、柿チップスの提供、庄内の物産・産直コーナー、本県 GT の PR コーナー等の企画

(3) 開催準備及び運営

前々日・前日からの「先乗り」で開催準備にあたりるとともに、当日の円滑な運営に努めた。

3 グリーン・ツーリズムに関する企画立案の実践

(1) 自らの足で取材した会員情報やイベント情報を、グリーン・ツーリズム NEWS の記事に構成、協議会 HP の新着情報や Facebook に登録など、旬の話題の提供に務めたことから、フォロワーやいいね! の数が大幅に増加した。

(2) スタンプラリーにおける協賛施設や台紙の配置施設を見直し、食事券といった新たなプレゼントの企画をした結果、プレゼント応募者が大幅に増加した。

(3) 「GOZZO 山形」の読者プレゼント企画において、協議会設立 20 周年記念事業として「農家レストラン食事券」を企画し、グリーン・ツーリズムへの観光誘客を図った。